

第8回 RIEC スピントロニクス国際ワークショップ The 8th RIEC International Workshop on Spintronics

開催日：平成24年2月2日（木曜日）～3日（金曜日）（2日間）

開催場所：東北大学電気通信研究所 ナノ・スピン実験施設

参加人数：128名

2012年2月2,3日の両日に、本学電気通信研究所が主催する標記国際ワークショップが附属ナノ・スピン実験施設において開催された[組織委員長：通研・大野英男教授、本学省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンターでの2nd CSIS International Symposium on Spintronics-based VLSIs (2月2,3日)とのジョイント開催]。参加者128名の内、国外からの参加者は19名を数えた。アメリカ、フランス、韓国、日本から19名の研究者を招待講演者として迎えた。ポスターセッションでは、中国、韓国、台湾、日本から21件の一般講演があった。さらに11名のパネリストによりパネルディスカッションが行われた。本ワークショップではスピン注入磁化反転・磁壁移動などスピントロニクス素子の基礎特性から、それらを利用した集積回路まで幅広い話題が活発に議論された。この議論を通じ、スピントロニクス集積回路の重要性と研究開発課題がより明確となり、将来の方向性を指示する有意義なワークショップとなった。また、多くの学生の参加もあり、学生の国際性を育む機会の提供という観点からも大きな成果を得ることができた。



第8回 RIEC スピントロニクス国際ワークショップ参加者集合写真